

断熱吹付



吹付断熱とは、断熱素材を屋根や壁、住宅の断熱性を確保・向上させる施工法です。この施工法で用いる断熱材は発泡性ウレタンと呼ばれ、液状の基材を霧状に吹き付けることで発泡・硬化させ、スポンジ状に変化する素材を使用するのが一般的です。

天井下地



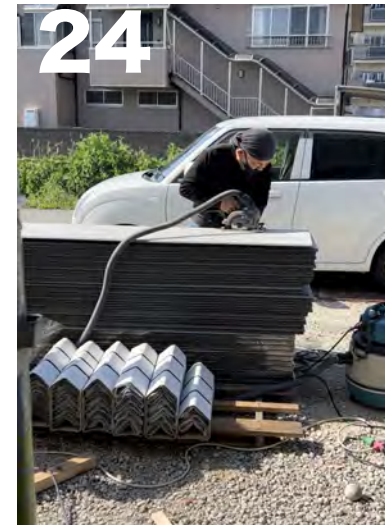
厚さ1mmほどの鋼材で作られた「軽量鉄骨」と呼ばれる素材を格子状に組み上げ、内装の「骨組み」を作る工事のことを言います。木材でするところもあります。

天井張り



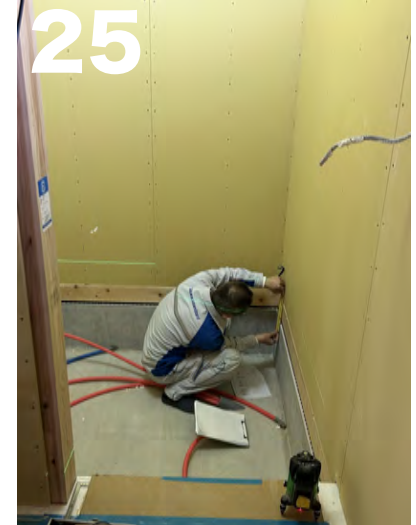
石膏ボードが貼られています。防火性や断熱性や遮音性に優れているボード状の建材です。

サイディング工事



サイディングというのは建物の外壁に使用する外壁材の一種です。窯業サイディングは、セメント質のものと繊維質を混ぜ合わせて作られた板です。最近の住宅で使用されているものほとんどが、この窯業系サイディングです。

住設下見



キッチン、ユニットバス、洗面など設置場所、サイズ、給排水の配管位置、電気配線、窓、ドア、納まりなど。細かい部分までチェック！不具合があった場合は施工当日までに修正しておきます。

床貼り



木造住宅の場合、「捨て貼り工法」が一般的です。合板の上に、フローリング材をボンドと釘を併用して貼ります。フローリングの端には凹凸があり、それをサネと呼びます。出た方のサネは凸サネ（オサネ）、引っ込んだほうのサネは凹サネ（メサネ）といい、その両方を組み合わせることでフローリングのスレなどを防ぎます。

壁貼り



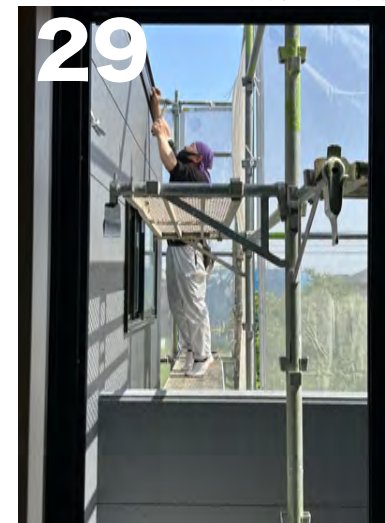
部屋と部屋の間仕切りの壁を石膏ボードで貼っていきます。石膏ボードは、防火性や遮音性、施工性に優れた部材です。石膏は防火材料としても認められていて、火災の炎焼防止に効果があります。

階段取付



現場で最小限の加工で済むように、工場加工済みの材料を注文して現場で組み、というスレカット階段を使った施工がほとんどになっています。ただスラムモデルのように組むだけで取り付けられることもなく、細かい技術で施工しています。

破風・鼻隠し取付



屋根の端に設置されている破風・鼻隠しは、雨樋が設置されているか否かという違いこそありますが、どちらも屋根の端を守ることに目的です。屋根の端は横からの雨や風、また外壁に当たって上向きになった風にはあまり強くありません。そこで、横や下から吹き上げてくる雨や風を破風板がブロックしているのです。

造作・ドア枠の取付



システムキッチンを設置するためのスペースと、キッチンカウンターの設置、クローゼットの建具枠、引き戸扉の枠の取り付けが行われます。